

1. 点Oを原点とする座標平面上の $\vec{0}$ でない2つのベクトル

$$\vec{m} = (a, c), \vec{n} = (b, d)$$

に対して、 $D = ad - bc$ とおく。以下の問いに答えよ。

(1) \vec{m} と \vec{n} が平行であるための必要十分条件は $D = 0$ であることを示せ。

以下、 $D \neq 0$ であるとする。

(2) 座標平面上のベクトル \vec{v}, \vec{w} で

$$\vec{m} \cdot \vec{v} = \vec{n} \cdot \vec{w} = 1, \vec{m} \cdot \vec{w} = \vec{n} \cdot \vec{v} = 0$$

を満たすものを求めよ。

(3) 座標平面上のベクトル \vec{q} に対して

$$r\vec{m} + s\vec{n} = \vec{q}$$

を満たす実数 r と s を $\vec{q}, \vec{v}, \vec{w}$ を用いて表せ。

(23 九大・文系)

▶解答◀ (1) (必要性) $\vec{m} \parallel \vec{n}$ のとき、 $\vec{m} = k\vec{n}$ とかけると、これより

$$a = kb \text{ かつ } c = kd$$

であり、このとき、

$$D = (kb)d - b(kd) = 0$$

となる。

(十分性) $D = 0$ のとき、 $(b, d) \neq \vec{0}$ より、 b, d のいずれかは0でない。

$b \neq 0$ のとき、 $c = \frac{ad}{b}$ であるから

$$\vec{m} = \left(a, \frac{ad}{b} \right) = \frac{a}{b}(b, d) = \frac{a}{b}\vec{n}$$

$d \neq 0$ のとき、 $a = \frac{bc}{d}$ であるから

$$\vec{m} = \left(\frac{bc}{d}, c \right) = \frac{c}{d}(b, d) = \frac{c}{d}\vec{n}$$

となるから、いずれの場合においても $\vec{m} \parallel \vec{n}$ である。

(2) $\vec{v} = (P, R), \vec{w} = (Q, S)$ とする。

$$\vec{m} \cdot \vec{v} = aP + cR = 1$$

$$\vec{n} \cdot \vec{v} = bP + dR = 0$$

$D = ad - bc \neq 0$ より

$$P = \frac{d}{ad - bc}, R = \frac{-b}{ad - bc}$$

よって、 $\vec{v} = \frac{1}{ad - bc}(d, -b)$ である。また、

$$\vec{n} \cdot \vec{w} = bQ + dS = 1$$

$$\vec{m} \cdot \vec{w} = aQ + cS = 0$$

$D = ad - bc \neq 0$ より

$$Q = \frac{-c}{ad - bc}, S = \frac{a}{ad - bc}$$

よって、 $\vec{w} = \frac{1}{ad - bc}(-c, a)$ である。

(3) $r\vec{m} + s\vec{n} = \vec{q}$ の両辺について、 \vec{v} との内積をとると、

$$r\vec{m} \cdot \vec{v} + s\vec{n} \cdot \vec{v} = \vec{q} \cdot \vec{v}$$

よって、 $r = \vec{q} \cdot \vec{v}$ となる。また、 \vec{w} との内積をとると

$$r\vec{m} \cdot \vec{w} + s\vec{n} \cdot \vec{w} = \vec{q} \cdot \vec{w}$$

であるから、 $s = \vec{q} \cdot \vec{w}$ となる。

◀別解▶ (1) $\vec{OA} = (a, c), \vec{OB} = (b, d)$ とする。 $\angle AOB = \theta$ とする。O, A, Bで作る図形(一般的には三角形であり、O, A, Bが一直線上にあるときには線分)の面積の2倍を S とすると $S = |ad - bc|$ であり、 $\vec{m} \parallel \vec{n} \iff S = 0 \iff ad - bc = 0 \iff D = 0$